



MIDNIGHT MARKET INSTRUCTIONS



魑魅魍魎が闊歩する真夜中の一大イベント、「ミッドナイトマーケット」。
さあさあ今宵も一風変わった客人たちが特別な商品を探求めてやってきます。

あなたは億万長者を夢見る商人。

その仕事は、できる限り高値で商品売ることです。

しかし、気を付けてください。真っ暗闇の市場では、

商人がお互いに何を持っているのかわからないのをいいことに、
お客さんが求める商品を持っていなくても価格を下げる目的で

競りに参加してくる悪徳商人もいます。

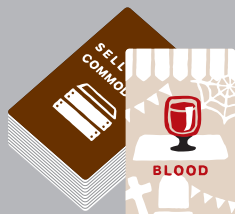
果たしてあなたはミッドナイトマーケットを制し、大富豪になれるのでしょうか？

■プレイ時間：15分 ■プレイ人数：2~4人 ■対象年齢：7歳以上

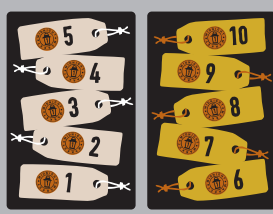
内容物



カスターカード:26枚



商品カード:28枚



プライスボード:2枚



ミッドナイトコイン:28枚

銅が1コイン、銀が5コイン、
金が10コイン分の価値があります



キューブ:4個

ゲームの準備

任意の方法で
スタートプレイヤーを決めます。

プライスボード (2枚で1セット)
を中央に置きます。

共通の場



各プレイヤー、商品カードを5枚、カスターカードを
3枚ずつ他のプレイヤーに見られないように
受け取ります。

各プレイヤー



各プレイヤー、キューブを1個、
ミッドナイトコインを3コイン分受け取ります。

配られたカスターカードを確認した上で、望むなら以下の通り商品カードの交換ができます。
任意の商品カードを捨て札置き場に表向きで捨て、捨てた枚数分の商品カードを新たに引き直します。
捨てられる商品カードの枚数は3人プレイ時4枚まで4人プレイ時2枚までの制限があります。

共通の場

各プレイヤー



全プレイヤーのカスターカードを裏向きで回収し
よく混ぜ、カスターカードの山札として配置します。

各プレイヤー3枚ずつ山札の内容を把握していることとなります。

来客

カスタマーカードの山札の上から1枚をめくります。そのカードが今回の来客者で、右上のアイコンが求めている商品カードです。

アイコンが2つある場合はその両方を求めています。



競り

スタートプレイヤーから順番に時計回りで以下の1~3のいずれかを行い、対象の商品をいくらで売るかを表明します。値下げを行うプレイヤーがいる限りはこれを順番に繰り返します。

まだ自分のキューブがプライスボードに置かれていない場合

1 競りに参加

任意の値札に自分のキューブを配置する

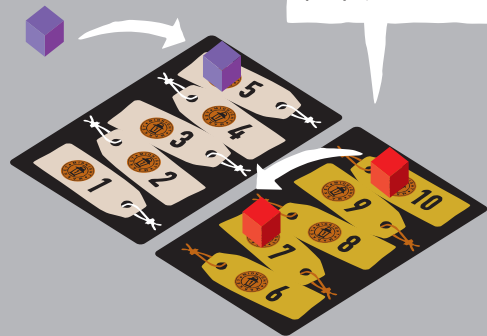
既に自分のキューブがプライスボードに置かれている場合

2 値下げ

自分のキューブをより安い値札に置き直す。
(元の価格より高い値札に置き直すことはできません)

3 パス

何も行わない



キューブを配置する際、他のプレイヤーよりも高い値札に置くことも可能ですが、すでに他のプレイヤーのキューブが置かれている値札には置くことができません。

求められている商品を持っていなくても競りに参加することが可能です。その場合、自分が最低価格にならないようにしつつできる限り他プレイヤーの売値を下げましょう。

取引

全プレイヤーがパスをして一巡したら競りが終了します。その時点で最も安い値札にキューブを置いていたプレイヤーが売却権を得ます。

売却権を得たプレイヤーが求められた商品カードを持っている場合



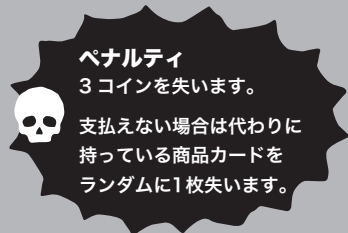
対象の商品カードを手札から公開し、捨て札置き場に置くことでそのプレイヤーがキューブを置いていた価格分のコインを得ます。



売却権を得たプレイヤーが求められた商品カードを持っていない場合



持っていないことを宣言し、ペナルティを受けます。その後、次に安い価格にキューブを置いていたプレイヤーに売却権が移ります。



いずれかのプレイヤーが取引を成立(商品を持ってコインを得た)させた、あるいは売ることのできるプレイヤーがいない時点でこのラウンドは終了し、次のラウンドとして再度「来客」から繰り返していきます。その際、取引を成立させたプレイヤーがいた場合はそのプレイヤーが次のスタートプレイヤーになります。

夜明け(ゲームの終了)

カスタマーカードの山札の最後の1枚と取引が終了した時点でゲームが終了します。最も多くのミッドナイトコインを稼いだプレイヤーが勝利となります。



各プレイヤーの持っている商品カードの内容はお互いに確認できませんが、枚数は公開情報で常に確認することができます。同様にカスタマーカードの山札の残り枚数も常に確認が可能です。